

ENE
エネア

Energy
Management
Association

会報 NO.87 平成30年2月号

一般社団法人エネルギーマネジメント協会
〒803-0004
北九州市戸畑区中原新町2-1北九州テクノセンター8F
TEL : 093-873-1333 FAX:093-873-1334

代表理事挨拶

日頃より、当協会の活動にご協力いただきありがとうございます。

九州経済産業局・中国経済産業局が2月に省エネ事例集を発行されますが、当協会が取組んでいます省エネルギー相談地域プラットフォーム事業の取組も掲載される事となっています。

また、ネット・ゼロ・エネルギー・ビル実証のプランナーとして関与していた企業の新築事務所が完成されました。

これでネット・ゼロ・エネルギー・ビル実証で2社の関与となりました。

ネット・ゼロ・エネルギー・ビル実証の関与先の取組がかんほ生命の冊子で紹介されましたのでご紹介します。

事務所・病院など新築案件でネット・ゼロ・エネルギー・ビル実証を検討される際にはお問合せを下さい。

当協会としては、会員企業の皆様に有効活用できるように努めておりますので、今後どうか宜しくお願いします。

・全国省エネ推進ネットワーク

<https://www.shoene-portal.jp/>

・ネット・ゼロ・エネルギー・ビル実証のプランナー登録

<http://sii.or.jp/zeb29/planner/search>

代表理事 赤松 茂喜

会員情報

会員数:80社(内:北九州市内55社/北九州市外25社)

新規入会企業のご紹介

◇株式会社ユニゾン

主要事業:省エネ総合コンサル、医療機器卸販売

事務局よりご案内メール(2月5日まで)

事務局より会員の皆様に発信した情報を一覧にしております。

H30.01.12	【案内】	エネルギー使用合理化シンポジウムのご案内
H30.01.13	【案内】	補助金・支援施策一覧表のご案内
H30.01.21	【案内】	補助金・支援施策一覧表のご案内
H30.01.28	【案内】	補助金・支援施策一覧表のご案内
H30.02.04	【案内】	補助金・支援施策一覧表のご案内

経時 営流

ネット・ゼロエネに挑む。

創エネと組み合わせ、省エネ投資の効果を最大化。

建築物省エネ法の施行により、2017年の4月から床面積300㎡以上の建物（新築または増改築部分）の省エネ基準適合が厳格化^{※1}されました。さらに床面積にかかわらず、新築建物は20年までに省エネ基準への適合を段階的に義務化すると発表されています。そこで注目を集めているのがZEB^{※2}、実証事業^{※3}、省エネと創エネ^{※4}を組み合わせ、建物の一次エネルギー消費量^{※5}をネット（正味）でゼロ以下にする取り組みを政府が支援するものです。今回は、14年度の実証事業に参加した株式会社キタモク（現、株式会社ブルケン・ウエスト キタモク営業部）の事例を紹介します。

工務店の受注支援に、ZEBの実績を活用。

建材関連のグループ企業を束ねるJKホールディングス傘下。キタモクは、今年7月、3社合併により誕生したブルケン・ウエストのキタモク営業部として再スタートをきった。ZEB実証事業に採択されて建築した社屋は、ブルケン・ウエストの本社、およびキタモク営業部の事業所として使われている。木造2階



ブルケン・ウエスト 管理本部長 高橋秀一



エネルギーマネジメント協会 アドバイザー 高田敏春



省エネコンサルタント 中馬慶太

建てて延床面積199㎡と、一般的な住宅とさほど変わらない。

「実は、モデルルームを兼ねているんですよ。そう語るのは、キタモクの創業時から在籍し、現在はブルケン・ウエストの管理本部長を務める高橋秀一氏。

同営業部は、地域の工務店が直接参加する競り市場を通じて建材や設備機器などを販売するユニークな事業を展開している。その中で工務店の受注支援に力を入れ、最新の建材や設備の情報提供を行ってきた。

「政府は、2020年までに、新築注文住宅の過半数をゼロ・エネルギー化する」と宣言しています。手ごまねしていると、施主は大手にばかり流れてしまいますから、ZEB

実証事業で経験とノウハウを蓄え、それを公開しようと考えたのです」

省・創エネを追求し、削減率は97.7%に。

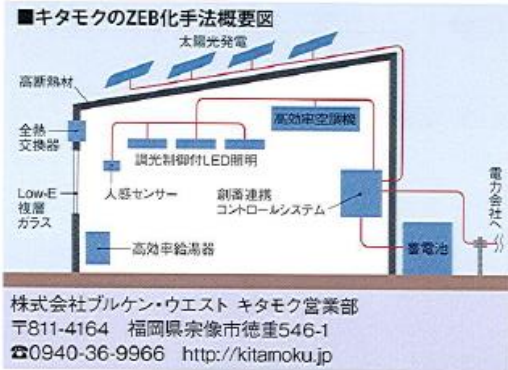
09年創業のキタモクは、当初から省エネ関連商品の拡充に努めてきた。顧客への提案力をつけるために、複数の社員に省エネ診断員の資格をもたせ、一般社団法人エネルギー・マネジメント協会にも入会している。それが縁で、実証事業では同会の高田敏春氏と、さらに省エネコンサルタントの中馬慶太氏の支援を受けた。「申請のための計算や書類作成は非常に複雑。そのお手伝いをさせてもらいました」と高田氏は振り返る。

ZEBとして認定されるには、まず、建物の規模や地域の特性から求められる基準値に対し、一次エネルギー消費量を50%以上削減することが必要。

建築設計を工夫し、最新の省エネ資材・設備を導入した上で、建物全体の



Nearly ZEBに認定された社屋。



株式会社ブルケン・ウエスト キタモク営業部
〒811-4164 福岡県宗像市徳重546-1
☎0940-36-9966 <http://kitamoku.jp>

※1 工場の生産エリアなどは対象外。なお、2,000㎡以上の非住宅建築物は義務化。 ※2 Net Zero Energy Building(ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング)の略。
※3 再生可能エネルギーの導入。 ※4 石油や天然ガスなど自然から採取された物質のエネルギーに換算した消費量。

削減率を計画値として算出する。「キタモクさんの場合、建築確認が終わってからの申請だったので、建物外被として高断熱材や複層ガラスなどを、設備として全熱交換器や高効率空調機などを導入して削減を図りました。試行錯誤を重ね、可能な限りの省エネを追求した結果、削減率は55%超となりました」

そして、もうひとつの要件が創エネ。再生可能エネルギーを創出し、省エネ努力で削減した量と合わせ、一次エネルギー消費量を100%以上削減することをめざす。同社の場合、屋根に取り付けた太陽光パネルで発電し、それを蓄電池にためて効率的に活用するプランを立てた。「必ずしも100%にならないまでも、ZEBと認められる^{※5}。」と中馬氏は説明するが、同社は、削減量を

第16回 こだわり良品発掘メッセ

中四国発

ビジネスフェア中四国2018

